

東照宮へ、ロマネスク日光街道①1日目 徳次郎宿～大沢宿～今市宿

開催日：2024年4月13日（土） 天候：晴れ やや健脚 歩数：28000歩 距離：18km

集合：JR東北本線宇都宮駅9時45分

コース：宇都宮駅→(バス)→上徳次郎バス停→石那田一里塚跡→日光スパ屋(昼食)☞→
石那田八坂神社(御仮屋)→うらない地蔵→新渡神社→上小池の一里塚→杉並木道→
日光街道杉並木寄進碑→王子神社→龍蔵寺→杉並木道→八坂神社→大沢の四本杉→
セブンイレブン日光大沢町店☞→杉並木道→大沢(水無)の一里塚→來迎寺→森友ポケットパーク
→杉並木道→桜杉→七本桜一里塚→ホテル村上(泊)

参加者：熊坂L 奥村SL 勅使河原 奈良 清水 市村 小田 山田 高橋友 脇坂、内海 田村
12名

「東照宮へ、ロマネスク日光街道」、いよいよ今回が最終回の11回目。1月22日以来久しぶりの宇都宮駅に降り立ちました。旧日光街道、現在は宇都宮までは国道4号が、宇都宮からは国道119号が並行していて、私たちが歩く街道は旧街道が残っているところと国道になってしまったところを歩いています。

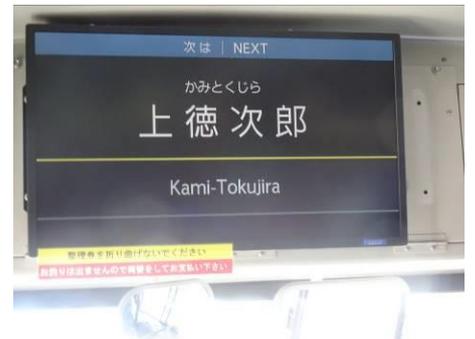
1日目は、上徳次郎バス停からスタートです。快晴、季節は冬から春へ。開花が遅れた桜がどこも見頃、菜の花、ニリンソウ、タンポポ、ショカツサイ・・・、春爛漫の街道歩きです。静寂の杉並木道は歩く人も少なくKWC一行貸し切りウォーキングでした。四つの一里塚を巡り、徳次郎宿から大沢宿、今市宿まで歩き、宿泊するホテル村上へ到着したのは17時40分。歩数2万8000歩、距離は18kmでした。



大沢(水無)の一里塚

宇都宮駅 JR日光駅行きバス10時5分～10時45分 上徳次郎バス停

宇都宮駅改札の空きスペースで熊坂リーダーがコース説明。餃子モニュメントがある駅前西口広場の階段を下りて関東バス8番乗り場へ。JR日光駅行きバスが到着、全員座ることができて定刻の10時5分に発車。前回上徳次郎バス停から宇都宮駅へ乗ってきた逆コースを進みます。メインストリートを西へ、県庁前、伝馬町、二荒山神社前バス停を通過して桜2丁目交差点を右折して北上。しばらくして前回歩いた旧街道に合流、車窓から見える景色が懐かしい。季節は冬から春へ、桜並木通りへ入りました。3月の気候が寒暖差激しく開花が遅れていた桜が見頃です。10時45分、上徳次郎バス停へ到着しました。



上徳次郎バス停～西北西へ～石那田一里塚跡～1 1 時 1 2 分 日光スパ屋

日差しが強く、衣類調整をして10時48分にスタート。日光街道は、上徳次郎バス停少し手前から進路を次第に北から北西へ。そしてバス停あたりからは太陽を左背中を受けて西北西へ進んでいきます。少し歩くとヒメオドリコソウの群生、「これニリンソウよ、山で見る花なのに、こんな道端に咲いているのを初めて見たわ」と花好きの女性たちはお花談義。船生街道入口交差点のところに江戸から30里の石那田一里塚跡があり、石柱が建っていました。淡い色の桜満開の並木道を進んでいきます。タンポポやショカツサイ、ラッパ水仙などが咲き誇り春爛漫です。11時12分、「日光スパ屋」に到着。早めの昼食タイムです。



日光スパ屋12時15分～接合井～菜の花道～石那田八坂神社御仮屋

店内奥のテーブル席は女性客や若い人で満席、早めの入店で3テーブル確保できました。街道歩きの楽しみのひとつは食べることで、いにしへの旅人も疲れた身体を茶屋で休み地元の名物に舌鼓を打ったことでしょう。季節限定の桜エビ釜揚げシラスパスタは豪華、私は宇都宮で一番濃厚なミートソースを美味しくいただきました。店の看板前で写真を撮って12時15分、午後のスタート。少し重くなった身体で5分ほど歩くと、道路反対側に「今市浄水場で浄水した水を距離約26km、標高差240mある戸祭配水場まで送る際、送水管にかかる水圧を弱めるために建設された」レンガ造りの接合井がありました。風もなく穏やかな日和、菜の花が咲く緩やかな上り道を進んでいきます。道路反対側に満開の桜の木、ズームでパチリ。15分ほど歩いて石那田八坂神社御仮屋に到着。神社は、江戸時代初期に疫病を鎮めるため京都の八坂神社から勧請。享保8年に再び疫病が流行り、石造りの本殿を新築して病氣平癒を祈りました。八坂祭りでは1km先の本殿から神様を神輿に載せて御仮屋に移します。



御仮屋～うらない地蔵～新渡神社～上小池の一里塚～13時37分 日光市へ

御仮屋を出ます。道端に可憐な白い花のイチリンソウ、石垣の下にはショカツサイ、アケビの花も咲いていました。菜の花の黄色が鮮やか、まるで「花街道」です。日光街道の標識、日光（市街地）へ11kmのところまで来ました。その先に、体の痛いところがあれば仏の同じ部分に赤布を巻いて祈願すると治ると伝わっているうらない地蔵が祀られていました。さらに10分ほど歩いて、神仏習合の名残を感じさせる石の地蔵尊を御神体とする新渡神社へ立ち寄りました。さらに10分ほど歩いて上小池の一里塚へ、しかし案内板もなく判然としません。13時37分、日光市へ入りました。20分ほど歩き、水分補給の小休憩です。



旧街道杉並木道～杉並木寄進碑～大沢交差点～14時33分 王子神社

国道119号と別れて旧街道杉並木道へ入り、徳川家康、秀忠、家光の3代に仕えた松平正綱が杉並木の寄進したことを記した杉並木寄進碑へ到着。集合写真を撮影、私も1枚撮っていただきました。日陰で風も心地よい杉並木道、KWC一行貸し切りウォーキングです。歩くこと30分、大沢交差点で再び国道119号と合流。14時33分、王子神社へ到着。熊坂さんが「源頼朝を祀っています。境内の大銀杏は樹齢200年、旧大沢宿の鎮守様で以前は高さ35mを誇ったが現在は24mです」と説明してくれました。



♪春の小川♪～龍蔵寺～八坂神社～大沢の四本杉～セブンイレブン日光大沢町店

王子神社から街道を少し外れて龍蔵寺へ向かいます。人が歩いていません、菜の花とモクレンのコントラストに人力が及ばない自然の美しさを感じます。小川沿いにも菜の花が咲き、どなたかが「春の小川の歌のような風景ね」。確かにうぐいすのさえずりも聞こえ、ゆったり春満喫です。龍蔵寺へ、満開のシダレサクラにメジロが忙しく蜜を吸っています。フジの名所ですが、花の見ごろはもう少し先のようにです。国道119号に出て、再び杉並木道に入り八坂神社へ。大沢の四本杉は四角に植えて互いの倒木を防いでいるようです。大分歩き喉も乾きました。時刻は15時10分、セブンイレブン日光大沢町店へ到着です。



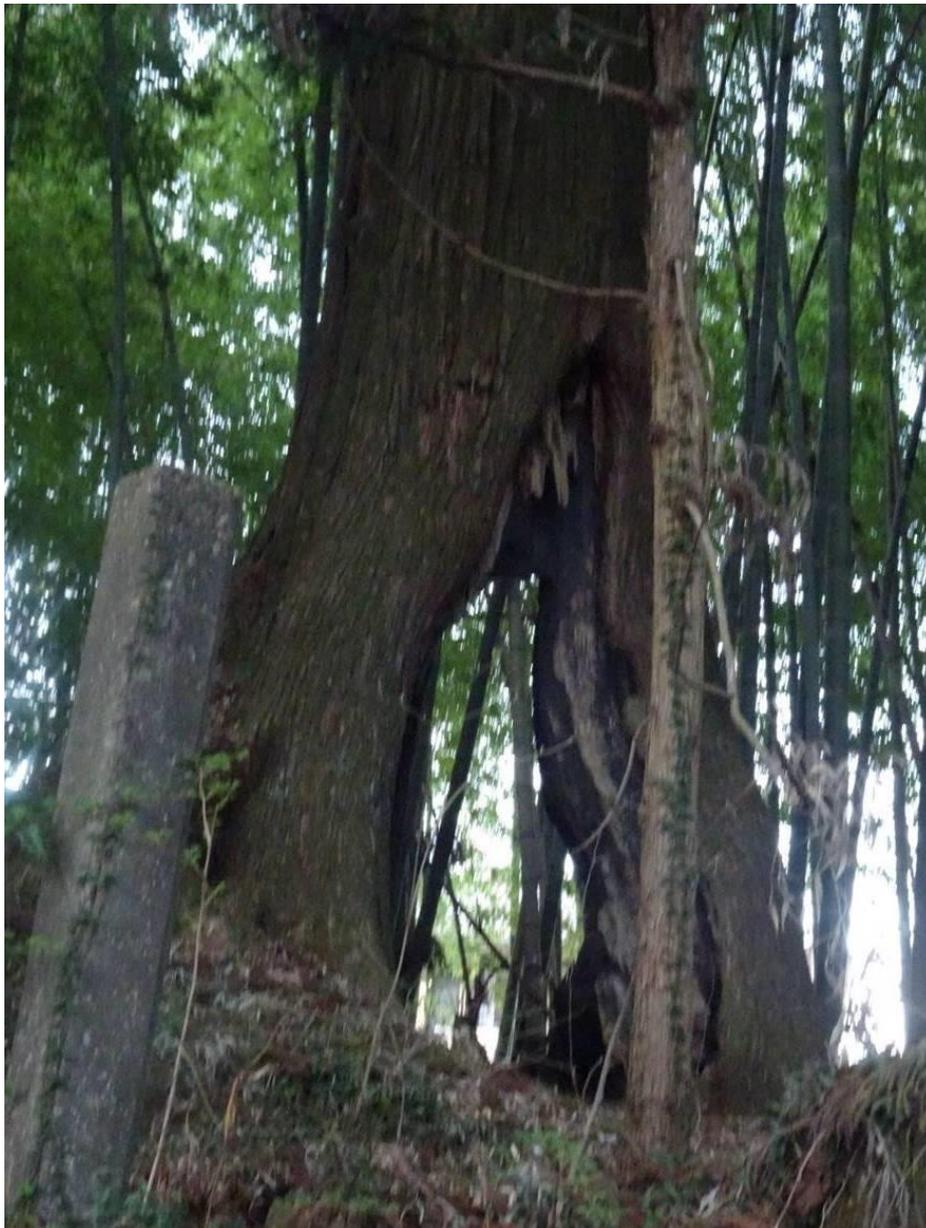
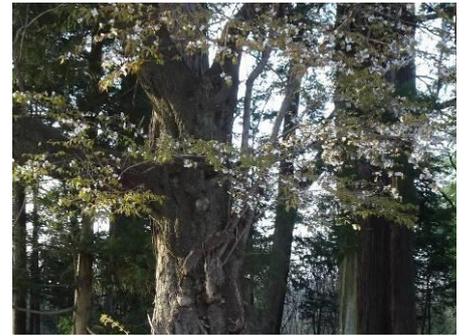
杉並木道～大沢（水無）の一里塚～來迎寺～16時35分 森友ポケットパーク

冷たい飲料水やアイスクリームで喉を潤して、国道沿いのコンビニから再び杉並木道に戻ります。「国道119」の標識、以前はここを自動車が走っていたようです。10分ほど進んで、日本橋から32里目の大沢（水無）の一里塚へ。原型を残した塚の前で集合写真を撮影。再び国道119号と合流、その先に第二接合井がありました。宇都宮から高度を上げて今市浄水場に大分近づきました。盛朝山來迎寺の桜も満開でした。下森友交差点を右に曲がり16時35分、「おいしい水、いまいちの水」が沸いている森友ポケットパークで小休憩。歩いて来た方向に桜と杉、前方に男体山などの山並みが大分大きくなってきました。



森友ポケットパーク～杉並木道～桜杉～七本桜一里塚～七本桜交差点

再び杉並木道に入り、20分ほど歩きました。熊坂リーダーが「この辺りに桜杉あるの、探して」と呼びかけ、しばらく探しました。そのうち「あったあった」の声、並行する国道119号の側に案内板があり見つけにくかったのです。柵に囲まれたところの杉の幹から桜の木が生えていて淡い色の花を咲かせていました。少し進んで、この日四つ目、日本橋から33里の七本桜一里塚に到着。塚上の杉の根本に高さ2m、中幅1.1m、下幅2.1mの空洞があり、大人4人ほどが入れることから「並木ホテル」と呼ばれています。17時を過ぎ、少し涼しくなってきました。「私たちのホテル」まであと少し、七本桜交差点を通過しました。



七本桜交差点～17時40分 ホテル村上 歩数2万8000歩 距離18km

七本桜交差点から少し進み、東武日光線の陸橋下を通り15分ほど歩きました。小倉町交差点へ、この先が今市宿、左へ行くとJR日光線今市駅、右へ行くと東武下今市駅。右に曲がってすぐのところがホテル村上、時刻は17時40分。歩数2万8000歩、距離は18kmでした。各自部屋に荷物を置き、ホテル近くの落ち着いた佇まいの「宴楽」で夕食懇親会を開きました。



(いちむら記)